

●幹事報告 杉山直幹事

幹事報告をご覧ください。

●5月6・13・20日の例会は、銀座アスターを予定しています。27日は、オンライン例会になります。

●5月22日は、フレンディアにて第11GのIMが行われます。

●出席報告 水内麻起子委員

本日分 4月8日
会員数 100名
出席 27名
Zoom参加 15名
MAKE-UP 6名
出席率 55.81%



●本日の行事

●会員誕生祝

小林修会員、
増井千恵子会長、
水内麻起子会員



●配偶者誕生祝



白井靖会員、北村透会員、増井千恵子会長、寺田美津司会員

●結婚記念祝



白井靖会員、下館貴子会員、木内賢治会員、増井千恵子会長、新井秀雄会員

●八会記念祝



朝日恵子会員、小倉利夫会員、増井千恵子会長、永村俊朗会員

●ニコニコ資金報告 下館貴子委員長

前日までの累計 635,100円
本日の計(24件) 57,000円
本日までの累計 692,100円



1・会員卓話

1から5全部おめでとうございます。卓話よろしくお願いします。

小川博史さん、卓話楽しみです。小倉委員長、活動報告よろしくお願ひします。

本日は卓話でお世話になります。よろしくお願ひします。

卓話よろしくお願いします。お祝いの皆様、おめでとうございます。

卓話やりますので、よろしくお願いします。

誕生祝いありがとうございます。これから立派なジジイとして頑張ります。

誕生祝いをありがとうございます。小川様、卓話楽しみにしております。

3・配偶者誕生祝い
配偶者誕生祝いありがとうございます。

”妻の誕生祝いありがとうございます。お昼、ロータリークラブに行くと言ったらさみしがっていました。(うそです)”

配偶者誕生祝いありがとうございます。

4・会員結婚祝い
結婚47年になりました。会話がなくなりつつあります。

結婚祝いありがとうございます。

昭和47年4月16日結婚して49年になります。来年は50年を迎えます。いろいろとお世話になります。”

5・入会祝い
入会して40年が過ぎました。

入会記念です。後期高齢に入り、ますます元気に遊びまわっています。

入会祝いありがとうございます。

6・そのほか
久しぶりの会場開催です。皆様お越しいただきありがとうございます。

久しぶりに例会場に来ることができました。これからずっと例会ができることを願っております。

皆さんお元気そうで嬉しいです。

ランニングクラブ活動するが迷っています。走るだけならすぐ始めます。希望者は白井まで。

皆様こんにち。こうして会えるのはうれしいです。北村さん、タケノコありがとうございます。

皆さんお久しぶりでーす！
皆さん元気でーす！

朝日会員、網谷会員から多めにいただきました。ありがとうございます。

卓 話

●小倉克徳会員 社会奉仕委員会 事業報告



【寄付活動】
・6月 新型コロナ(COVID19)対策として、2770地区 大型補助金事業の前倒し実施が特例で認められ、市内全小学校52校の学童保育に非接触型体温計を寄贈



【寄付活動】12月 地区補助金活用事業
市内視覚障害者生活介護施設へ
【点字名刺印刷機寄贈】



【寄付活動】来週4月14日
東日本大震災 被災地支援
福島県富岡町へ
義援金
震災10年目の今年も
持参予定

【佐藤進会員より】
『スマホの普及に伴い、「ながらスマホ」による危険が増加し、死亡事故も発生』
↓
『安全のため子どもたちから広く標語を募集して意識を高めてもらっては』
と提案がありました
3密回避で行える素晴らしい提案に

早速、
「川口スマートフォンマナー標語コンクール」
を企画
11月 理事会に上程 → 承認後
川口市、川口市教育委員会(市教委)
に後援申請
市の交通安全対策課、市教委の協力
のもと標語募集チラシ&ポスターを作成
12月初旬

教育委員会を通じ
川口市立小学校
全52校
4年生～6年生
約15,000人

中学校 全26校
1～2年生
約10,000人
合計78校
約25,000人を対象に
12月～1月末の期間で
主に冬休み自由課題
として 標語募集の
ポスター&チラシ配布

自由課題のため応募数が不安
⇒ 最終 48校 約2,100作品の応募
2月2日 全作品のデータ入力を完了
(事務局 津田さん ありがとう!!)
2月4日 オンラインにて最終審査
2月5日 入選者6名の学校を全て回り、
入選通知と表彰式への出席依頼文
を手渡す

《表彰式》
緊急事態宣言下でしたが
キュボ・ラ4階 フレンディアで
市長、教育長に出席いただき
入選者全員、同伴者1名に限定して
最大限の感染防止対策のもと
最低限のスタッフ人数で
オンライン例会として開催



スマートフォンマナー標語コンクールを通じて
子どもたちが一生懸命に考えてくれた
沢山の応募作品を見ながら、
きっと、この子たちや家族は
「ながらスマホ」をしなくなるだろう。
そして標語を見た一人一人の
意識が ちょっと変わるだけで、
事故で悲しむ人がいなくなることを願って止まない。